

長 い冬が終わりを告げ、今年も優しい春が訪れました。鳴子温泉地域の玄関口、川渡地区にかかる川渡大橋下の荒雄川河川敷には、四月から五月にかけて黄色いじゅうたんを敷き詰められたような菜の花畑が広がります。年によつては堤防の桜と菜の花が一緒に咲き、残雪の花淵山の美しい姿と相まって、その景色はまるで一枚の風景画のようです。

この美しい菜の花畑を守りはぐくんでいるのが、「川渡菜の花畑をつくる会」の皆さん。この会は地区振興会、観光協会、旅館組合、老人クラブで組織されていて、言わば川渡地区の一人ひとりが会員です。

この取り組みが始まったのは今から三十年ほど前のこと。当時の河川敷は柳の大木が生い茂り、橋を通行する車からのごみのポイ捨ても多く、うっそうとした風景が広がっていました。そんなころに「鳴子を訪れて最初に目にするのがこの景色ではお客さんもがっかりしてしまう。この景観をどうにかしなければ」と有志が立ち上がり、河川敷の一大美化作戦が始まりました。ゴミを拾い、木を切り、大きな岩や石を掘り起こすなど、重機



▲約4ヘクタールの菜の花畑と残雪の花淵山。川渡温泉の春の風物詩です。

が入らないこともあり、すべて手作業の重労働。「きれいになるまで十年くらいかかった」というほど大変な作業だったそうです。そして、美しく生まれ変わったこの場所には、春一番に咲く菜の花畑を作ること。雪に耐え、春に一斉に咲き誇る菜の花は、厳しい冬を過ごす鳴子温泉地域の人たちが、春を心待ちにする気持ちと重なるようです。特にPRはしていませんが、ここ数年、この美しい景色に誘われてたくさんの方が訪れるようになり、「思いがけないほど人がいてびっくり」することもあるとか。また、川渡温泉の旅館組合では四年ほど前から、菜の花畑の最盛期にあわせた「春の川渡温泉写真会」も開催しています。

湯沢川の桜(表紙写真)など、春の川渡温泉には魅力的な風景がいっぱいあります。

菜の花畑をつくる会 (鳴子温泉)



いで湯の里に 春を告げる菜の花畑。 みんなの思いが優しく咲きます

春の川渡温泉写真会 日時/4月22日(日) 午前9時～
場所/鳴子温泉地域川渡大橋河川公園 参加費/無料 申込締切/4月16日
◎ 写真会事務局 藤島 ☎090-6455-1510



古川地域発
「幸福の黄色いポストサブレ」
幸せを感じる甘いひととき 日本にただ一つの黄色いポストをかたどった

このコーナーでは、誰かにすすめたくなる伝統的工芸品や物産など、大崎市自慢の逸品を毎月紹介していきます。

古 川地域には、日本にただ一つの黄色い郵便ポストが設置されています。その名も「幸福の黄色い郵便ポスト」。手紙を出せば、全国どこへでも配達される本物のポストです。

このポストは、「日本一美しいまちづくりへの挑戦」を掲げる古川地域の四季彩通り商店街振興組合が、商店街を幸せの発信拠点とすることで、多くの人に足を運んでもらうきっかけになればと、平成十七年五月に設置しました。

今や珍しくなった丸型で、日本に一つだけの黄色いポストであることが一躍脚光を浴び、全国からお客さんが訪れるようになり、手紙を送った人も、送られた人も、幸せな気持ちになれると好評です。

四季彩通り商店街の奥様たちで組織する「四季彩通りおかみ



幸福の黄色い郵便ポストは、四季彩通り商店街振興組合が運営する「幸福十番館」の隣り(吉野ポケットパーク入口)に設置されています。

四季彩通りおかみさん会の「旬の市」
期間 4月17日(火)～11月13日(火)
期間中の毎週火曜日
午前10時～午後1時
場所 吉野ポケットパーク

さん会」では、ポストをきっかけに全国から訪れるお客さんのお土産にもなるお菓子を作りたいと話し合いを重ね、ポストをかたどったオリジナルのサブレを生み出しました。プレーン(バター味)、レモン、シヨコラの三種の味がそろった「幸福の黄色いポストサブレ」です。昨年十月から販売を開始し、おかみさん会が開く「旬の市」や会員のお店で取り扱っています。

おかみさん会会長の玉野博子さんは「かわいくて食べるのがもったいないとよく言われます。このサブレで、甘く幸福なひと時を過ごしてもらいたいですね。サブレの売り上げは、商店街や地域の活性化のために役立てていきたいと考えています。」と話してくれました。

幸福が口いっぱい広がる古川地域の新しい逸品です。

◎ 四季彩通りおかみさん会
会長 玉野博子さん
専用電話 090-2974-8877